

# かけはし



尾張旭市立三郷小学校 第10号 令和2年2月10日(月)

## 標語に込めた思い ～やさしさ～

校長 井田 寿

今年度、人権を理解する作品コンクール（標語の部）にたくさんの子たちが応募し、どの作品も素晴らしい内容ばかりでした。そこで、2月3日（月）に行われた人権集会で、優秀作品に選ばれた4名の児童が、自分がつくった標語と、その標語に込めた思いを舞台の上で堂々と発表しました。4名の児童が真剣に考え、発表した標語に込めた思いをしっかりと受け止めていかなければならないと強く感じました。発表内容は以下の通りです。



- ・「人のきもちをかんがえて やさしいきもちに みんななりたい」（1年）  
～みんながけんかしないように、やさしい気持ちで過ごせたらいいなという思いを込めました。～
- ・「いいところ みんなでほめよう やさしくね」（2年）  
～誰にもいいところがあるので、ほめてあげて、みんなが仲良くしてほしいという思いを込めました。～
- ・「差別のかべを みんなの勇気で 打ちくだこう」（5年）  
～どんな人も平等に生きられるように差別をなくしてほしいという思いを込めました。～
- ・「いじめから たすける勇気 金メダル」（6年）  
～いじめのことをほかの人に言えず、見ているだけの人が多いから、いじめから助けることは金メダルのように素晴らしいことなんだという思いを込めました。

今から40年ほど前のできごとです。プロ野球界で鉄人と言われた元広島カープの衣笠選手が17年間連続試合出場記録をのびしているときに、元読売ジャイアンツの西本投手がデッドボールをあててしまいました。衣笠選手は救急車で運ばれ、背中の骨を骨折してしまいました。西本選手は、試合後に恐る恐る衣笠選手に謝罪の電話を入れました。すると、衣笠選手は「大丈夫だから心配するな。おれの次の選手に2塁打を打たれただろう。油断するな。」と逆に気遣っていました。骨折しているにもかかわらず、翌日の試合に代打として出場しました。その当時の新聞には、「芯が強く、やさしい人」と書かれていました。

学校や家庭、地域で「やさしさについてよく考え、明るく幸せに過ごせるように」私たちができることをいっしょに考えていきましょう。



2月15日(土)、学校公開を開催いたします。子どもたちが発表する姿、前向きに取り組む姿等を、是非ご参観ください。

〈第2時限〉9:25～10:10(1～3年、たんぼぼ・ひまわり学級)  
5・6年「ネットモラル教室」・・・保護者の皆様も是非ご参加ください。

〈第3時限〉10:30～11:15(4～6年)